

大阪府からのお知らせ

夏の暑さにご注意を

近年、大阪では猛暑日の日数が増加し、熱中症による搬送者数も高い水準で推移しています。総務省消防庁の発表によると、昨年度の府内の熱中症搬送者数は7202人でした。同発表によると、一昨年度から熱中症搬送者数は51人減少している一方で、府内の農・畜・水産作業中の熱中症搬送者数は約3倍になっています。

●夏の作業で心がけること
・できるだけ、気温の高い時間帯の作業は避ける
・暑さ指数に依じた農作業を行います！
・暑さ指数とは、熱中症の危険度を判断する数値で、気温とは異なります。
・暑さ指数に対して当日に予定している作業の強度が高い場合は、より軽い作業への変更を検討しましょう

・変更が難しい場合は作業の時間を朝夕の時間帯にずらす、休憩や給水の回数を増やすなどの対策をしましょう
●作業前に「熱中症警戒アラート」情報を確認する習慣を！
・熱中症の危険性が極めて高くなる（暑さ指数が33以上）と予想された場合「熱中症警戒アラート」が気象庁や環境省から発表されます。
アラートが発表されている日は特に注意して一日の作業内容を考えましょう。
（提供：大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課）

「大阪府暑さ対策情報ポータルサイト」

大阪府暑さ対策で 検索

情報提供・お問い合わせ

大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課

気候変動緩和・適応策推進グループ (TEL06-6210-9553)



農業労災・安全対策ポータルサイト開設

全国農業会議所はこのほど、労災保険制度や農業安全対策に関する情報をまとめた「農業労災・安全対策ポータルサイト」を開設した。
現在、労災加入が任意である従業員が常時5人未満の個人の農業経営について、令和13年度までに強制適用となる見込みであることを踏まえ、労災制度の概要・加入の流れや農業安全対策等について案内している。

天気のおっちゃんのコラム

気象予報士、元普及指導員

森田 彰朗



第二十九回

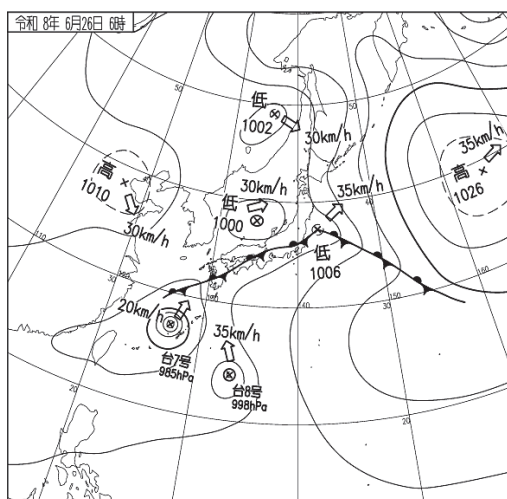
「6月26日の大雨」

大阪初の危険警報発表

去る6月26日早朝、大きな雨音で目を覚ました方もおられたでしょう。この日、大阪府内、特に河内地域を中心に大雨となり、大雨危険警報、土砂災害危険警報と氾濫危険警報（寝屋川水系）が発表されました。東大

阪市や奈良県生駒市では浸水が発生、大阪市生野区ではマンホールが吹き飛ぶなど、各地で被害が出ました。また、生駒山・河内長野の2つのアメダスポイントで、1時間雨量の観測史上最高値が出ました。
25日夜の天気予報では、翌27日に2つの台風が相次いで接近し、大雨に警戒することは強調

されたものの、26日の1時間雨量は最大で40mmと予想され、危険警報のレベルになるとは考えにくい状況でした。
湿った風が大阪でぶつかった
気象台が6月29日に出した速報を元に、私なりに原因を分析してみます。天気図を見て下さい。梅雨前線は瀬戸内海から大阪府方向に伸びており、九州の南には2つの台風があります。前線付近ではこのとき瀬戸内海からの西風が吹いていましたが、そこへ台風風の周りを回る湿った暖かい南西の風が紀伊水道方向から吹き込み、2つの風が大阪



付近でぶつかり、急激に積乱雲が発達したと、考えられます。
前線+台風は大雨のセット

梅雨期には台風が遠くにあっても、線状降水帯が発生したり、大雨となったことは、これまで何回もありました。
「前線+台風は大雨のセット」ということを是非覚えておいて下さい。詳細がわかれば、また解説したいと思います。

ワンポイント

農業気象（8月）

台風の接近、上陸
積乱雲による強雨と
突風
熱中症対策、高温対